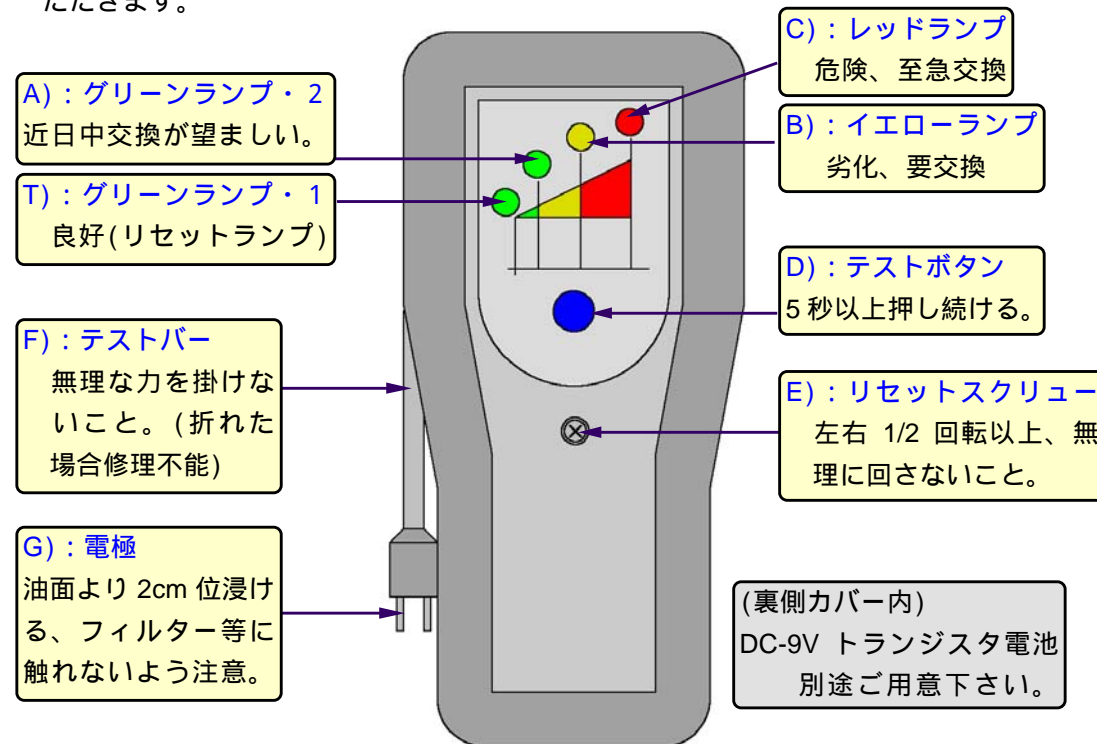


## ブレーキフルードテスター：BF - 200 取り扱い上の注意

- <▶ 本機器は、ブレーキフルードの吸湿状態を測定するテスターです。沸点を正確に測定することはできません。従って、ハードな走行からくる、ブレーキフルードの化学的劣化による沸点の低下には、正しく反応しないことがあります。劣化状態の判断は、本機器でのテストの他、フルードの変色やリザーバタンク底面に、スラッジが沈殿していないかなどを確認し、総合的に交換時期を判断して下さい。
- <▶ レベル調整をしたブレーキフルードと、規格の異なるフルードをテストする時は、その規格の新品フルードで再度調整して下さい。DOT 3で調整されている時、DOT 4、DOT 5をテストすると測定結果が狂うことがあります。リセットスクリュー E)は、左右 1/2 回転以上回せません。無理に回すと破損します。
- <▶ 電池が消耗すると、測定結果が狂うことがあります。インジゲーターランプの、光度が低下していたり、レッドランプが点灯していないのに、警告音が鳴るような時は電池交換時期です。電池(DC-9V 角形トランジスタ電池)はセットに含まれません。別途ご用意下さい。高温時期や粗悪電池の液漏れに注意して下さい。
- <▶ 使用後は、きれいに拭いてケース内に保管して下さい。水に濡れたり、ブレーキフルードが浸透すると、誤動作を起こす原因になります。また、落下させたり、強い磁気に近づけないよう注意して下さい。特に、テストバー F)は、破損すると修理不能ですので、無理な力を掛けないよう注意して下さい。
- <▶ 本機器を分解しないで下さい。また、裏面の注意書きシールは、剥がさないように注意して下さい。このような場合は、保証期間内でも保証対象外とさせていただきます。



### 使用方法

テスト前に、次の手順でレベル調整を行って下さい。テストするブレーキフルードと、同一規格の新品フルードに、電極部 G)を 2 cm 位浸けて、テストボタン D)を 5 秒以上押します。この状態で、テストボタン下方のリセットスクリュー E)を左右に軽く回し、グリーンランプ 1 T)だけ(いちばん左)が点灯するように調整して下さい。

この時、電極部 G)が、タンク底面やフィルターなどに接触しないよう注意して下さい。(テスト時も同様)次回、規格の違うフルードに使用する時は、再度上記手順で調整を行って下さい。

電極部 G)を、きれいに拭いて、テストするフルードに 2 cm 位浸けます。テストボタン D)を 5 秒以上押し、インジゲーターランプの点灯状態を確認します。

T) グリーン(緑)ランプ 1 点灯・・・良好

A) グリーン(緑)ランプ 2 点灯・・・今は問題ないが、近日中に交換。

B) イエロー(黄)ランプ点灯・・・劣化進行要交換。坂路走行危険。

C) レッド(赤)ランプ点灯 + 警告音・・・至急交換。非常に危険。